

## 飼料要求量と給餌量について

わが畜産資源研究室には、栄養、育種、管理…と研究の幅が広くて研究生の専門性もずいぶん異なりますね。栄養についての研究をしている方には、今更ながら…という話ですが、先日子山羊の給餌量に関する質問が寄せられました。そこで、飼料計算と実際の給餌量について少しお話ししたいと思います。

現在、子山羊の給餌量は、NRC(National Research Council)の飼料要求量(山羊用)と日本標準飼料成分表を基に算出しています。以下に今山羊係りが用いている飼料要求量と飼料成分表を抜き出してみました。Table 1. の飼料要求量は、体重30kg・一日あたりの増体重(DG)150gを示しています。濃厚飼料組成は、熊谷先生にお聞きしました。

Table 1. Nutrient Requirements of Goats

	TDN (g)	DE (Mcal)	ME (Mcal)	DCP (g)
BW (30kg)	362	1.59	1.30	35
DG (150g)	300	1.32	1.08	30
Total	662	2.91	2.38	65

Table 2. Feed Composition

この資料を基に、皆さんも飼育当番が回ってきたときにはぜひ給餌量計算をしてみてください。でも実際に

	TDN (g)	DE (Mcal)	ME (Mcal)	CP (g)
Concentrate	63.2	0.465	0.24	16.5
Timothy Hay	56.3	0.248	0.204	6.7
Alfalfa H.C.	49.4	0.217	0.179	14.7

飼養管理をする場合には、これらに加え飼料摂取量(山羊たちがどれだけ食べられるか)も考慮しなくてはなりません。また、成長期の給餌量についてNRC標準では実際の飼料を用いた給餌量の例が掲載されています。興味のある方、飼料給餌方法にご意見・ご提案のある方はどんどん山羊係までご報告下さい☆

### 目次:

牧場交流会	2
事件発生	2
日誌をどんどん書きま しょう	2
インタビュー (客員教授アレックス氏)	3
学会報告(AAAP)	3
お知らせ	4
飼育当番表	4

## 修士課程(大学院)入学試験実施さる

8月下旬に修士課程入学試験がありました。わが畜資からも4回生2人が受験し見事合格しました。その二人から①大学院進学を選んだ理由②院試に向けた勉強について③実際に受験しての感想④これから院試を受けようとする人へアドバイスを頂きました。

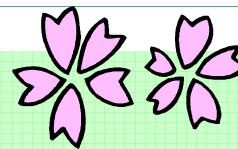
①モラトリアム…じゃなくて、研究というものに対する興味でしょうか。普通に人生を送っていくなかで、何かの「研究」を行うという機会は中々無いと思います。今、自分は素晴らしい設備、指導者、先輩に囲まれており、こういった環境のなかで生涯のうち「研究生活」をおくれるという事は、なかなか無い貴重なチャンスであると感じ、大学院進学を考えました。また、前から、社会に出た時に「大学(院)で、これを勉強してきた！」というものを得たいと日々考えていたので、そのテーマを与えてくれる大学院に惹かれたというのがあります(受身で御免なさいm(\_\_)m)

②院試で頑張った点は、なんとと言ってもニガテ

だった英語です。広岡先生の「英語さえ通ったら、後はなんとかしたる。」の言葉を信じてひたすら英語だけを見つめました。やった事は、主に過去問(約25年分)と単語の暗記です。文法や構文の概念を、いまだに理解していない僕にとって幸運なことに、京大の英語は伝統的に文法問題がなく、和訳オンリーなので、イメージーションだけ豊かな僕は、頭の中でストーリーを展開し、英語を日本語チックに変換することに努めました。

③試験本番ですが、英語に関しては、一応わからないなりに全部書きなぐったんですが、いかに自分の実力を信じていなかったのか、「他の人はもっとできてるんじゃないか。自分、ただできてるつもりなだけじゃないのか。」などと、不安に包まれていました。(実際、周りから「俺、満点だよ」「平均90以上なんじゃねえの?」とかいう声もありました)

4ページへ続く



すっかり涼しくなりましたね。風の匂いも空の雲も秋の色になり、秋刀魚の美味しい季節がやってきました。畑は収穫を迎えることなく…来年に期待しますか。10月からは学会や実験、研修会などで人の出入りが多くなるようです。山羊達もずいぶん大きくなって『かわいい』という言葉が似合わなくなってきたという声がちらほら聞こえてきます…



## 牧場交流会



交流会でのBBQ

### 事件発生

おはようございます。今朝、畜舎に行ったら一番東側の扉の扉が開いていて②ナンちゃんと③シャーちゃんが脱走していました。多分夕べか朝早くに扉が閉まっていないことに気付いて、出たものと思われます。畜舎の中は新聞紙やグローブ、買い物袋など、テクスチャーのよさそうなものが氾濫して、大変なことになっていました。そして入り口の扉は完全に開いていました…掃除は、すれば済むことですが、ビニール系のものや紐状のものを山羊が誤って食べた場合には、胃や腸に詰まったりして大変なことになりかねません。今回のことを教訓に、皆様も畜舎を出るときは、戸締りを確認しましょう。(9月7日)



9月13日に園部にある京都大学付属高原牧場にて分野間交流会が行われました。応用動物系研究室の横のつながりも大事にしようとする北川先生が中心に始めてくださっているようで、畜産資源は熊谷先生が連絡を取ってくださり、ボス広岡先生も参加されました。先生方、大学院生、専攻生、研修生、留学生、四回生と、共同研究をされている滋賀県立大や石川大学、テキサスA&Mの方も来られて、総勢59名の大喜親会でした。今年で3度目の開催ということですが、最も参加者人数が多かったそうです。四回生は「畜産技術論と実習Ⅱ」という授業で、牧場に泊まり込みの実習の真っ最中です。日中の草刈りや肉用牛の飼育管理等の実習と講義で佳代ちゃんはお疲れの様子でした。入浴・夕食が終わった後にも講義があるとのことですが、この日は交流会のために四回生が準備・片付けをしてくれていました、ありがとう。達ちゃんはやけどしながらも一生懸命お肉を焼いてくれていました。お料理のメインはなんとっても牧場のステーキ肉BBQ(ひとり2枚まで!)です。さきちゃんはダイエット中だから食べないといいつつも、お～いしい～～と大絶賛でした。ベジタリアンのフランシスさんとお話されていたスミスさんによりますと、につぼんのお肉のsimofurilは元気ですね～とのことで、日本のお肉は海外の方にも高い評価を得ているようです。お肉の他にはお野菜やぷりぷりのホタテがありましたがおいしいものは早い者勝ち、乱入してきた元畜資の東郷さんと我先にとほおばりました。お酒のほうも充実していて、技官さんから二本も焼酎の差し入れを頂いたので、T原さんがいたら、、、来年はじめてく

ださい!長命さんにご満悦、西尾くんはあいかかわらずいくら飲んでも普通でした。みんなほろ酔いところに研究室紹介があり、参加人数トップの畜資メンバーの名前紹介を代表でしてくれた大石さんは大変そうでした。その後は帰りのバスの出発時間が迫ってきてみなさん名残惜しそうでした。楽しい会も終わり、牧場のみなさん、マイカーで来ていた柔道特訓中の田端さん、ちゃっかり乗せてもらっている菊原くん、実習中の四回生達、、、残っている方々に手を振り(お辞儀もしましょう)、バスに乗り込みました。事務の上原さん、体格の良いカヒさん、ホンデュラスに里帰り中のレニンさんにも焼きたてのお肉を届けたかったな～、とお肉の余韻を胸に家路につきます。帰り道。。。私は昨年からの亀岡市在住なので、今日だけは一番に家路につけそうです。長命さんは、なんだかみんなで遠足気分だね～と道中言われていましたが、私の通学路です。園部も良いところでしたが、亀岡も良いところですよ。もうすぐ今年の新米(ゆうゆう米)がとれます、牧場のBBQの時にも悩まされた台風が心配ですが、畑では、豆やサツマイモがとれていて秋の幸がいっぱいです。ここで問題。。。この文章の中に畜産資源学研究室のメンバーの名前が全員一度は出てきます。さて、現在メンバーは何人いるでしょうか?そして、そのうち何人が交流会に出席していたでしょうか?結構高い出席率でしたよ、参加人数トップですから、大石さんも大変なわけです。  
注1:スミスさんは畜資の方ではありません。注2:名字や名前が似ている、または同じ人がいます。  
では、上原さちちゃんより牧場交流会の報告でした。

## 日誌をどんどん書きましょう!



皆さん、当番のときに飼育日誌を記入していますか?飼育日誌が山羊の給餌量と残滓を記入するだけのもの、だなんて思っていないですか?家畜生産において『記録』というのは非常に大きな意味を持っていることとも言えません。それは育種や繁殖の記録に限ったことではないのです。日々、家畜を飼養管理する中で、ほんの少しでも気付いたことを書き留めておくことが、管理上とても大きな意味を持つことがあります。特に管理者が一人でない場合には、実際の飼育担当者の名前が、そのときの情報を誰に聞いたらいいのかという手がかりを探すために重要です。天気の情報や、病気の原因発見につながることもさえないのです。畜産資源のメンバー全員と飼育を担当して下さっている松平さんの情報共有のためにも日誌にはいろいろな情報を書き込んでください。



# 好評連載 気になるあの人にインタビュー



研究室のアレックスさん

『山羊好きさんにインタビュー』という触れ込みで始まったこの企画も少しずつ形を変えながら今回で第6弾を向かえることになりました。今回のゲストは、この10月末で約2年間の滞在を終えてケニアへ帰国する客員教授のアレックス(本名:Kahi Alexander)さんです。アレックスさんは日本学術振興会の事業で2004年11月よりわが畜産資源研究室に客員教授として来日されています。Alex氏は日本語が苦手なためインタビューは英語で行われました。

―日本で研究成果はいかがでしたか？

Alex―日本黒毛和種に関する研究を行い、これに関する7本の論文を書きました。

―日本についてどんな印象をお持ちですか？

Alex―日本のことを何も知らずに来日しましたが、日本人に対する印象が強いですね。

―例えばどういう印象ですか？

Alex―私はオーストラリアやドイツにも滞在しましたが、日本人が一番親しみやすく友好的だと思います。日本語は難しく覚えられず、いつも問題になっていましたが、日本での生活はとても便利で楽しかったです。ただほとんどの日本食は苦手ですね。特にケニアでは淡水魚しか食べないので、日本の海水魚を使った料理はあまり好きにはなれませんでした。唯一マグロの刺身だけ美味しいしうゆがあれば食べられます。白身魚は美味しくないな。

―日本食で好きなものはありますか？

Alex―ヤキニク、ヤキトリは美味しいと思います。あ、石田先生の送別会で食べた中華風粽は美味しかった。それと日本のケーキやお菓子は好きです。

―日本国内は、どこか旅行をされましたか？

Alex―ええ、いろいろ行きましたよ。熊本とか島根とか…

―ああ…絶句(ここでインタビュアーはスワヒリ語圏の男性が日本で一番行きたいところにまず熊本を挙げるのを思い出しました。理由は…スワヒリ語を調べて下さい)

―(気を取り直して)日本で大変だったことは何ですか？

Alex―日本人のRIGIDさです。規定が多くて融通が利かない。火事で一つの扉が燃えていても別の扉が使用禁止になっていたらそこから出られないようなところが理解できません。

―ハハハ…そんなところ、確かにありますね日本って。では祖国ケニアに戻ったらどうされるんですか？

Alex―もとのポジション(Egerton大学\*生物科学部の助教授職)に戻ります。ただ、1~2年のうちにこの研究室はまた戻る日が来ると思いますよ。次は短期だと思いますが…

―それは楽しみですね。では最後に畜産資源学研究室のみんなに一言メッセージをいただけますか？

Alex―僕がいつもみんなにあげるメッセージがあります。それは、”Nothing comes easy. You must work, must work hard for it”

―まさにAlexさんという感じですね。ありがとうございました。

\*Egerton大学はケニアの首都ナイロビの北西約175kmあたりにあるそうです。

### 学会報告(AAAP)

9月18~22日、韓国釜山で第12回 AAAP (Asian-Australasian Association of Animal Production Societies) Animal Science Congress 2006 が開催されました。わが畜産資源学研究室からも熊谷先生が口頭発表を、長命さん(D3)、田端さん(D1)、菊原君(M1)がポスター発表を行いました。第12回AAAPの詳細内容は <http://www.aap2006.com/> で閲覧できます。その模様を田端さんにレポートしていただきました。

#### AAAP in釜山に行ってきました

9月18日から22日にかけて釜山で開催された国際学会、第12回AAAPに参加しました。関空から釜山までは飛行機でたった1時間、韓国はすぐそこの外国でした。会場にはBEXCOという大型コンベンションセンターが用いられ、5日間にわたり口頭、ポスター発表が積極的に行われました。学会期間中の昼食は全てフリークーポンでまかなえ、おまけに、学会参加者には参加証明書とカバンがもれなくもらえます。21日の晩にはディナーパーティーがひらかれ、おいしい料理がバイキングでふるまわれるとともに、学会参加者によるバンド演奏もあるなどとても盛り上がっていました。次回のAAAPは2008年にベトナムで開催されます。今回参加できなかった人も是非一度体験してみたいかがでしょうか？きっと楽しい思い出となるはずです。

## 9月の子山羊の体重

山羊たちは生後7ヶ月に達しました。

今月の写真はパイちゃんです

	9/7	9/14	9/21	9/28
① トン	28.0	29.4	31.6	
② ナン	30.0	31.2	32.7	
③ シャー	29.6	29.2	30.6	
④ ペイ	35.0	36.2	36.6	






## 飼育当番表 2006年 10月

日	月	火	水	木	金	土
1 フランス・上原	2	3	4 学生実験	5 学生実験 田端・竹内 体重測定	6	7 田端・竹内
8 田端・竹内	9 体育の日	10	11	12 金島・菊原 体重測定・予防注射	13	14 金島・菊原
15 金島・菊原	16	17	18	19 長命・椎野 体重測定	20	21 長命・椎野
22 長命・椎野	23	24	25	26 フランス・西尾 体重測定・予防注射	27	28 フランス・西尾
29 フランス・西尾	30	31	11/1	2 熊谷・レニン	3 文化の日	4

### 修士課程（大学院）入学試験実施さる（1ページからの続き）

専門科目は、文字通り「無」の境地で立ち向かいました。

④ある先生が「最近、英語さえできればいいって風潮があるらしいけど・・・」といったので、ちゃんと専門の勉強もしておきましょう^^; 実際勉強すれば、研究の役に立ちますし(笑) 大学院（研究室）選びは、人生の分岐路にもなりえる大きなイベントなので、悩みこんでしまう人もいると思いますが、もし、気になったら（気にならなくても）一度、どこかの研究室に訪問してみるのが良いと思います。そうすれば、研究内容や設備だけでなく、周りの人の人柄や雰囲気までも分かりますし、将来、自分の研究している姿が想像しやすくなるかもしれません。うちの研究室とかだったら、夕方から夜に訪問してくれば、結構な確立で飲み会やら誕生日会などのイベントに直面して、楽しい思いができますよ♪（達&佳代）




**Laboratory of Animal Husbandry Resources**

Department of Animal Husbandry Resources,  
Kyoto University,  
Faculty of Agriculture  
Oiwakekyo, Kitashirakawa,  
Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

電話 075(753)6365  
FAX 075(753)6365  
<http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/>


GOAT BULLETIN



**畜産資源学研究室**

**今月のお誕生日さん**

今月お誕生日を迎えるのは広岡先生（13日）です。おめでとうございます。お誕生日会の日程は後日コンパ係りより連絡します。




**今月のゼミ**

いよいよ皆さんお待ちかねの後期ゼミが始まります。

- 10月4日（西尾君・椎野君の4回生演習）
- 11日（フランスさん・竹内さんの4回生演習）
- 18日（長命さんの学会発表検討会）
- 25日（菊原君・金島さん）

という連絡が来ています。皆さん後期も頑張りましょう！（^\_^;）



**Goat Bulletin休刊のお知らせ**

来月のGoat Bulletinは、都合により休刊となります。vol.7は、11月発行予定となりますのでご了承下さい。編集部では引き続き、投稿記事らびに編集をお手伝いしていただける方を募集中です。  
[yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp)までお気軽にご連絡下さい。